



2025(令和7)年 8月5日(火)例会(第2949回)報告(晴) No.2777

出席率 …… 28/44 63.64% 第2947回補正出席率 …… 39/46 84.78%

欠席者 喜多村、小藤、定秀、佐藤、高橋、谷田、中田、浜田(一)、平岡、福嶋、堀田、松井、松本(勝)、三村、村山、山田

メイクアップ(米子RC) 松井 (マスコミ懇談会) 4名
(理事会) 12名

出席免除 足立、岡空、藤瀬、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 山崎慎也 会長

8月上旬は戦争の報道が多くなる時期であり、今年は太平洋戦争の終結から80年を迎えます。戦争の記憶が薄れていく中で、その悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えることが大切です。私自身も、父から聞いた避難経験の話を毎年思い出します。父とその姉が戦争中に家族と離れて朝鮮半島へ避難し、戦後、幼い父が栄養失調となりながらも命からがら帰郷したと聞きました。その時もし何かが起こっていれば、今の私は存在していなかったかもしれません。その父を抱えて境港まで連れ帰ってくれた姉というのが、本日お越しの奨学生・小坂橋さんのお母様であることに、不思議な巡り合わせを感じる日となりました。

◆バスト会長時間 黒田 耕 2008-09年度会長

満60歳の時に会長をしました。例会場は当時の夢みなとタワーから、現在この快適なみなとテラスに変わり、隔世の感があります。猛暑続きの夏ですが、皆様それぞれに体力をつけて、ロータリー活動はもちろん、まず各自の事業・企業を活発に回していきましょう。ゴルフ同好会コンペにも積極的にご参加願います。



◆幹事報告 上田康文 副幹事

◎「クラブ活動・運営計画書」配布 ◎坂口G「月信第2号」「公式訪問御礼状」 ◎榊原直前G「月信第13号」 ◎米子南RC「5RC親睦ゴルフ案内」 ◎8月Rレート1\$=149円 ◎本日「定例理事会」 ◎8/12、19は2週連続休会

◆第2回新旧理事会報告 上田康文 副幹事

【議題】①2024-25年度収支決算・監査報告[審議]→承認
②2025-26年度収支予算(案)[審議]→承認 【その他】①地区大会第1日目の新会員セミナー登録料の取り扱いについて→セミナー(6,000円)はクラブ負担。懇親会(8,000円)は自己負担とする。 ②事務局夏季休業…8/13(水)~15(金)

8月誕生日祝い

4日 谷田真基 10日 佐藤浩延
8日 足立統一郎 26日 中村栄治
8日 岡空晴夫 各会員



◆委員会報告

◎青少年奉仕委員会…渡邊冬樹 委員長

少年ナイター野球…8/21(木)余子スポ少と対戦。8/18(月)に

— スマイルBOX —

◎誕生祝 中村、谷田 ◎創立祝 大平 ◎小坂橋さんをお迎えして 山崎、門脇、川田、庄司、瀬戸、友森、中田、北國、松本(正)、鷺澤 ◎小坂橋さんの卓話、楽しみです。 酒井(博)、赫、浜田(貴) ◎本日、新事務所へ移転オープンしました。 渡邊(冬) ◎渡辺商店、開店おめでとうございます。 木村 ◎雨が降りますように 三輪 ◎早退します 小林 ◎スマイルに協力 黒田、島谷、清水

今年度計 122,000円(20.33%/目標60万円)

今回(8月26日)プログラム

「新会員卓話」

三村徳寿・高橋誠治 各会員

次回(9月2日)プログラム

「新しい港湾サービスの実現」

(有)遠藤通船 取締役 梶谷勇太 氏

委員会を行いますので、委員の皆様はご出席をお願いします。

【会計報告】

2024-25年度 決算報告 浜田一哉 会計
(代: 酒井直前会長)
監査報告 小藤善之 監査役
(代: 同上)
2025-26年度 予算報告 松井尚成 会計
(代: 山崎会長)

◎「ロータリーの友8月号」紹介・友森昌幸 雑誌・広報委員長

— プログラム —「メディアの現場から米国大学院への挑戦」—

2025-26年度地区補助金奨学生 小坂橋有香 氏
テレビ東京を早期退職し、ハワイ大学マノア校大学院に8月末から進学予定。留学に至る経緯を、記者時代の映像も交えながら紹介。



1. テレビ局の仕事と子育ての両立

テレビ東京では報道記者として、重大事件の取材や皇室の同行取材など、貴重な経験を重ねてきた。一方で、シングルマザーとして2人の子どもを育てる中、ワークライフバランスの難しさや育児の負担が女性に偏る現実を経験し、マイノリティの声が届きにくい日本社会に強い疑問を抱くようになった。

2. なぜ米国の大学院へ進むのか

こうした問題について大学で講義する中、「疲れ果てたロールモデルばかりで将来に希望が持てない」という学生の声に危機感を覚えた。ジャーナリストとしての経験とシングルマザーとしての視点から、日本社会の構造的な問題を学問として掘り下げたいという思いが、夢だった海外留学を本気で目指す原動力となった。

3. 研究テーマと将来の目標

日本でジェンダー格差やワークライフバランスが進まない背景には、伝統的価値観や同調圧力があり、それをマスメディアが知らず知らず助長している可能性がある。メディアの多様化と人々の価値観の変化の関係を分析し、マイノリティの声が届きやすい社会への変革の鍵を探していきたい。また、米子市出身の亡き父・高塚篤の著書『予科練 甲十三期生』をハワイ大学に寄贈し、英文出版するという目標もある。

「やり抜く力=GRIT」によって留学を実現させようとする私を、年齢のバイアスなく選んでくださったロータリーの皆様に、心から感謝している。